

## 新町家のすすめ 建築実例 物件情報シート

建物名：焼杉の家

### 建物写真



### 建物概要

行政区：京都市右京区

建築年：2020年

敷地面積：(任意)

建築面積：(任意)

延べ面積：(任意)

構造：木造

階数：2階建

本体価格：(任意)

建築主：(任意)

設計者：(株)アラキ工務店一級建築士事務所

施工者：(株)アラキ工務店

### 設計コンセプト・ポイント

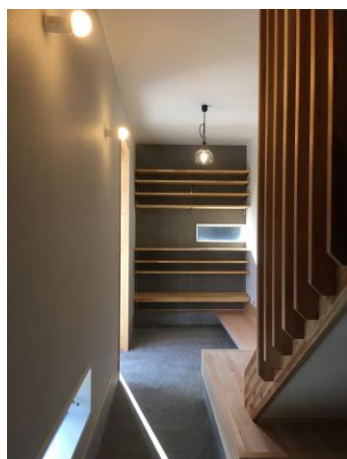
閑静な住宅街に立つ、木造住宅です。

総2階のシンプルなお住まいですが、下屋庇、玄関土間、濡れ縁などの中間領域を介して、外部とのつながりを持たせています。

外壁の焼杉板張りは、防火認定の下地材を使用し、準防火地域対応としています。

該当する指針の欄に、具体的な内容を記入してください(取り入れていない指針の欄は空白で可)

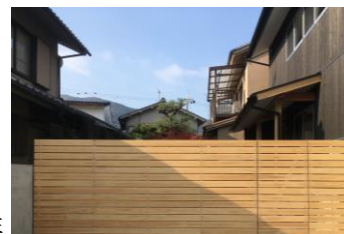
**指針 1** まちに暮らす ～隣地の状況を踏まえて建物配置を計画する～



建物配置にあたり、屋根の形状や外壁ラインを隣家と揃え、奥庭が連続するように計画しています。(指針 1-1)

窓の大きさや位置は、隣家と視線が交わらないよう工夫しています。(指針 1-2)

玄関には、ご家族の趣味の空間として以外にも、気軽な接客の場としてもご活用いただけるよう、広い土間を設けています。(指針 1-3)



庭の連続性

**指針 2** 場所になじむ ～地域特性や歴史を踏まえて設計する～



妻入りではありますが、玄関ポーチの下屋を幅広に設け、通り庇のように見せることで、寺社仏閣や町家が残る街並みに調和する外観となるよう工夫しています。(指針 2-1)

旧市街地とは異なり、通りに面して生垣や塀が設けられ、前庭からのぞく緑が周辺の山林等と調和する町並みになじむよう、通りに面して植栽を施しています。(指針 2-1)

エアコン室外機などの設備機器は、ファサード側に露出しないよう、配置しています。(指針 2-3)

**指針3** 季節や自然を楽しむ ～季節や自然を楽しめるよう工夫する～



奥庭は、風が通り抜けるよう隣家と位置を揃え、濡れ縁越しに季節の移り変わりを楽しめるよう、落葉樹を植えています。(指針3-1)

塀に裏木戸を設け、庭のメンテナンスの際に出入りできるようにしています。(指針3-1)

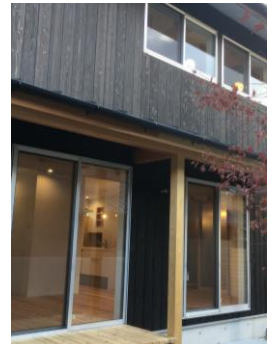
季節の飾りや草花などが飾れるよう、杉の無垢材を使用したニッチや飾り棚を設けています。(指針3-2)



南北に配置した窓と、階段室を介して重力換気が行えるよう上下に配した窓により、風の通り道を確保しています。(指針3-1、3-2、3-3)

窓にはペアガラスのハイブリッドサッシを採用しています。(指針3-3)

南面の下屋は、夏は日除けになり、冬は日差しを取り入れられるよう、軒の出を計算しています。(指針3-3)



**指針4** 大切に使う ～大切に長く使い続けられるよう工夫する～



給水給湯はさや管ヘッダー工法、排水は基礎立ち上がり部貫通とし、メンテナンスしやすくしています。(指針4-1)

手の届きにくい階段吹抜の照明は、踊り場にブラケット照明を設けています。(指針4-1)

建具枠や階段手摺など、手に振れる部分に桧や杉の無垢材を使用し、木の温かみを感じられるとともに、経年変化も楽しめる家となるよう、工夫しています。(指針4-2、4-3)

指針5 和の技を感じる ～伝統技術・技能をいかす～



外壁は、焼杉板張りとしています。(指針5-1)

リビングの天井は構造材をあらわしにし、大和天井風にしています。(指針5-2)

玄関土間は、玉砂利洗い出し仕上とし、桧無垢板の式台を設けています。(指針5-2)

